



はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」
「これでよいのか」
「さあやるぞ」

「安全」の視点でつながること

校長 関根 祐一

朝晩の白息、澄んだ空気に真っ白に雪化粧した富士山の姿が映え、夜空には冬の星座オリオン座が浮かび始めています。秋を短く通り過ぎていつの間にか冬になっていたという感覚です。学校の山茶花の蕾も大きくなってきています。

過日の校内音楽会・公開音楽会では、子供たちが日頃の学習の成果と、発表に向けて一生懸命に重ねた練習の成果をしっかりと発揮することができました。今年度もとても素晴らしい音楽会となりました。ご支援にあらためて感謝申し上げます。また、11月8日には、5年生が学校を代表して市内親善音楽会に参加して、音楽会でも披露した難曲をとても格好よくそして美しい歌声で大ホールに響かせてくれました。参加姿勢も含めて北小学校の代表にふさわしい姿でした。5年生は林間遠足でもめあての達成に向け協力して頑張りました。その意識と活動力に今後も活躍が大いに期待されます。



いきいきタイムには
たくさんの子供たちが
走っています。

さて、元日に発生した能登半島地震や9月の能登豪雨など、多くの災害に見舞われた一年でした。大きな交通事故や新たな発生形態の事件のニュースも頻繁に見聞きします。

そうした中、防災・減災に関して「北小ほうかごところ」さんからお話があり、大規模災害発生時の児童の留置き及びご家庭への引き渡しについて災害規模や防災時間帯に応じた連携の在り方を協議し共通理解を深める機会をもつことができました。今後30年の間に首都直下型の大地震が起こる可能性が高いと言われてますが、30年後ではなく30年の“間”ということですから、発生は極めて近い将来かもしれません。そうした意味でも、ほうかごところさんと詳細な話し合いがで

きたことは、関係機関との連携具体化の大きな一歩であったと感じています。

交通事故防止につきましても、11月24日(日)に新所沢まちづくりセンターで開催された地域の交通安全教室に参加させていただいたのですが、まず感心したのは参加人数の多さでした。新所沢地域全体の交通安全意識の高さが伺われます。近頃、学校周辺で子供たちを含めしっかりとヘルメットを着用して自転車に乗る人の姿を見かけることが多くなったように感じていたので、合点がいきました。講習では、道路交通法の改正や改訂された自転車安全利用五則、危険予測運転の重要性等について話があり、危険予測については、学校の交通安全指導でも行っていますので地域と学校の視点がつながった思いがします。「もしかして 止まる 見る 待つ 確かめる」です。

防災・減災、交通安全、防犯・生活安全という3領域の「安全」を視点に地域の取組と学校での取組がつながることは、ご家庭と地域・関係機関と学校のネットワークのより一層の広がり強化に資するものと感じています。

新所沢地区文化祭(11月16日(土)・17日(日))会場：新所沢まちづくりセンター)で今年も本校児童の作品が展示されました。

今年は16日(土)公開音楽会開催日の午後に多くの本校職員も文化祭に出向かせていただきました。地域の豊かな文化に触れさせていただくことができました。



学期末を迎えました。より良いまとめができるよう取組を進めていきたいと考えています。急な季節の変化で体調を崩しやすくなっています。健康管理にもご留意いただき、12月もご協力をお願いいたします。